



興 津小学校「ぼうさい甲子園」で入賞 健康・防災を楽しめる工夫が評価される

兵庫県・毎日新聞社・公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構が主催する「令和4年度1.17防災未来賞『ぼうさい甲子園』」において、興津小学校が入賞しました。本賞は、防災教育に関する先進的な活動を募集・表彰するものです。災害による被害を抑え、復旧を短くすることで社会への影響を減らす「レジリエンス（縮災）」に繋がる取り組みとして「URレジリエンス賞」が授与されました。

興津小学校では、平成15年度から防災マップづくりを始め、24の防災マップを作成してきました。本年度は、津波避難の際の行動を考えてもらうことを目的として、歩くことで危険な場所がわかり、健康にもなる「興津防災パワフルウォークマップ」を開発しました。

児童は、津波避難タワーの端から端までは30m、歩くと40歩ということを調べたうえで、少し大股で歩いて30歩きっちり歩くチャレンジをマップに組み込むなど、時間・距離・歩数を考慮したチャレンジを考案し、健康・防災を楽しめる工夫をしました。

高齢化が進む興津地域では、避難訓練に参加できない方が少なくなく、児童は避難に必要なことをあらかじめ考えた結果、このマップのテーマである「防災と健康」を決めました。興津小学校においても、地域ぐるみの防災教育活動の重要性を再認識する機会となりました。



◀防災の視点でまち歩きを行い、その成果がマップに反映されました。



興 津なつかしの写真展2022 防災イベントも同時開催!

令和4年12月3日、興津ぼうさいミュージアムにて興津なつかしの写真展2022が開催されました。この写真展は、興津ぼうさいミュージアム実行委員会が初めて開催したもので、令和2年度末に閉校となった興津中学校跡に開館した興津ぼうさいミュージアムの存在を、地域の方に知っていただき、気軽に足を運んでもらいたいとの思いから企画されたものです。ミュージアム内には、興津地区の児童生徒が長年に渡って取り組んできた防災学習の資料や手作りマップ、各種表彰などの展示の他、20世紀初頭からの興津小学校の卒業写真も展示され、来場者は当時の懐かしい写真を眺めながら、思い出話を花を咲かせました。また、同時開催された防災イベントでは、防災食の試食体験や避難時にも有効なノルディックウォーク体験、健康相談なども開催され、興津防災のこれまでの歩みと今後の取組みを考える充実した一日となりました。

▼選定証授与



下 津井冬もうしが「日本の祭り」に選定されました! 県内では18番目の認定

このたび、ガイドグループ「日本の祭り」に、下津井冬もうし（仁井田神社大祭）が選定され、令和4年11月24日にガイドグループホールディングスの高松富博前会長から中尾町長に選定の証が送られました。ガイドグループによるこの「日本の祭り」は、平成15年に始まり、毎年35の祭りが選定され、高知県内の祭りで選定されたのは「下津井冬もうし」が18番目となります。

「下津井冬もうし」は、毎年11月25日に下津井仁井田神社で行われており、今年も地域内外の若者らに担がれた牛鬼が豊作や家内安全を願い、森林軌道跡のめがね橋や下津井橋を渡り、田畑を駆け巡りました。昼からは、祭典や神輿のおなげに続き、地域出身の小中学生らによる花取り踊りが披露され、祭りの最後には餅投げが行われました。この伝統ある祭りが、今後も後世に引き継がれていくことを願っています。



協 働の森で雑木伐採・植樹体験 (株)四国電力・北ノ川小学校児童らと

令和4年11月21日、瀬りの「四万十 よんでんの森」にて(株)四国電力社員・北ノ川小学校児童6人・役場林業振興室職員等で雑木伐採・植樹体験を実施しました。本事業は、平成18年から(株)四国電力と町がパートナーズ協定を結び、事業協賛金を頂き環境保全活動として環境教育や地域交流を目的として行っています。間伐体験植樹体験では、モミジ・イチョウの木を植樹し、児童が森への想いを記した記念プレートを取り付けて今後の木の成長を一緒に見守っていきます。



志 和ふるさとまつり 新鮮な魚介類やイベントで大盛り上がり

令和4年12月4日、志和漁港周辺で志和ふるさとまつりが開催され、早朝から多くの方が訪れてにぎわいました。

この祭りは、志和地区の新鮮な魚介類や農産物を味わっていただき、地域の活性化につなげようと開催されており、住民が一丸となって取り組む志和ならではのお祭りとして定着しています。毎年人気の伊勢エビ汁やすり身入り天ぷらをはじめ、浜ではバーベキューを楽しむ家族連れなど、新鮮な魚介類に舌鼓をうっていました。また、おなじみのお楽しみくじ入り餅投げや志和港クルージングなど、志和ならではのお祭りは盛況のうちに幕を閉じました。